

本社工場における炭酸カルシウムの液体流出事故についてのご報告

今般の本社工場（明石市魚住町西岡 1455）の流出事故により、地域の皆様をはじめとすご関係先に、多大なご迷惑ご心配をおかけしましたこと、改めて心から深くお詫び申し上げます。

当該事故について、関係機関のご指導を受けて、弊社における環境保全体制の抜本的な見直しを施すべく、事故調査委員会を立ち上げ、事故原因の究明と再発防止策について検討して参りました。その結果に関し、下記のとおりご報告させていただきます。

弊社といたしましては、以下の再発防止策を確実にかつ早急に実施するとともに、環境保全並びに法令遵守は企業経営の最優先事項であるとの理念のもと、今回の事故を深く反省し、地域並びにご関係先の皆様からの信頼回復に努めてまいり所存です。

記

1. 事故の状況

- (1) 発生日 2009 年 9 月 30 日午後 2 時頃
- (2) 場 所 本社工場（明石市魚住町西岡）製造工程
- (3) 内 容 炭酸カルシウムの製造工程において、炭酸カルシウムの水懸濁液中の異物を除去するために使用する振動篩が、故障により突発的に停止したために、当該箇所から炭酸カルシウムの水懸濁液が溢れて貯槽外に流出し、床面、排水溝、雨水沈殿池及び雨水排水溝を経由し河川に流出する事故が発生いたしました。
事故発見時、直ちに河川への更なる流出阻止のため水門を閉鎖し、該当機器並びに関連設備を停止し、関係機関、自治会様等に直ちに本件事故のご報告を行いました。河川に流出した炭酸カルシウムに関しましても夕刻までに回収いたしました。
流出当時は満ち潮の時期と重なり海には流出しておらず、実害の報告を受けておりません。

2. 事故原因

振動篩の異常停止については経年劣化等（2002 年設置）、配線系統に不具合（振動による断線等）が生じたものと判断しております。このことは過去における他場所の振動篩での配線不良による停止事例や、或いは今回事故後における配線取替での稼働確認からも推定されます。また、敷地外への流出防止の観点からは、場内の雨水沈殿池が長期にわたり適切に管理出来ていない状況にあったことがあげられます。

一方、当日オペレーターにおいては事故発見現場の振動篩周辺の清掃に追われ、排水経路（特に河川側）へ目が行き届かなかったこと。強いては、オーバーフロー発見から社内関係先への第一報が 30 分後となり措置が遅れたことがあげられます。

3. 事故発生の諸要因

本件事故発生の諸要因を事故調査委員会による調査結果から、以下の点について指摘されました。

- ① 運転管理、設備管理の不徹底
- ② 緊急事態想定への対応設備の不備
- ③ 排水処理施設の管理不十分
- ④ 現場オペレーターの危機対応認識の不足

4. 再発防止策

事故調査委員会からの指摘を受け以下のような防止策を至急並びに計画的に実施してまいります。

- ① 場内保有の事故原因機器と同機種に関しては、直ちに動力配線を点検、交換を完了しております。その他の設備機器類に関して、経年劣化を懸念される箇所を優先的に点検、交換を実施するよう計画し随時実施しています。
 - ・ 事故機器関係 ……10月初旬 完了済
 - ・ その他の機器関係 ……ハイリスク箇所から随時点検、交換、整備を実施中
- ② 事故原因箇所の異常時の感知システム、警報システムを整備しています。その他の設備機器に関しましても緊急事態に対応するべく、場内の抜本的な危険箇所を抽出し、リスクに対する対応設備の整備を強化しています。
 - ・ 事故機器関係 ……11月下旬 完了予定
 - ・ その他の機器関係 ……ハイリスク箇所から随時点検、交換、整備を実施中
- ③ 設備点検、交換、周期等、設備管理標準だけでなく、「自守保全要素」を盛り込んだ作業標準等を完備します。また、環境変化（新設機器の導入、生産量の増減、工程の変更等）に対してタイムリーに対応して「標準」を制改訂し、PDCAサイクルを毎年確実にまわしていきます。
 - ・ 事故機器関係 ……12月下旬 制改訂
 - ・ その他の機器関係 ……ハイリスク箇所から随時完備。今期中
- ④ 現場オペレーターの緊急時における初動操作の実践的行動を徹底させる為に、対応訓練を年に数回行い、全員参加を義務化します。また、環境保全、危機管理に対する教育を徹底するため、工場スタッフも参画し小集団活動等を活発化し、環境保全の重要性を周知徹底していきます。

本報告では、本社工場における流出事故に関しまして、その原因究明を行い、その過程で明らかとなった諸課題に即し、本社工場において最優先で取り組むための対策についてご報告させていただきました。各対策につきましては、着実に実施してまいります。

あらためて、今回の事故を深く反省し、二度と起こさないという決意をあらたにし、地域並びに関係機関の皆様のご信頼を賜れるよう、懸命に努力を続けてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上